

紀北支援学校

実施日時	令和元年 7月25日(木)
参加者	生徒105名、教職員43名 計148名
実施内容	炊き出し・配膳訓練、シェイクアウト訓練、学習結果発表会 等

ねらい

- 1、地震についての学習を通して、生徒一人ひとりの防災意識を高める。
- 2、体験的な学習を採り入れ、積極的に学習に取り組もうとする意欲と姿勢を引き出す。

主なプログラム

- 1、タタメット着脱練習
- 2、パーティション組立て・撤収体験
- 3、防災グッズ作り 等

概要

高等部全生徒を4つのグループに分け、それぞれのグループにおいて、生徒の発達段階に応じた内容を工夫し実施する。

参加者感想文

- ・パーティションの組立てと使用を体験して、避難所では、トラブルを起こさないように気をつけて、みんなが協力しないといけないと感じました。



- ・災害が発生した時に、まず何をすればよいのかということについて、家族で相談してみようと思いました。
- ・新聞紙は読むだけでなく、いろんな防災グッズとして活用できるのすごいなと実感しました。

成果と課題

【成果】

防災画像や自分たちで制作した防災動画を活用することで、視覚的に分かりやすく、生徒一人ひとりが興味を持って取り組むことができた。また体験的な活動を通して、自分たちで積極的に話し合い、互いに協力しながら主体的に取り組もうとする意欲と姿勢を引き出すことができた。

防災画像や自分たちで制作した防災動画を活用することで、視覚的に分かりやすく、生徒一人ひとりが興味を持って取り組むことができた。

【課題】

南海トラフ地震に伴う和歌山県への甚大な被害が予想されているため、被害予想や避難経路の確認が必要であり、全校的な取り組みや地域と連携した取り組みについても検討していく必要がある。